

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターゆめみっこ（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和7年11月15日		～ 令和7年12月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	97	(回答者数) 52
○従業者評価実施期間	R7年12月1日		～ 令和8年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月11日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	特性の理解と専門性の高い支援	<ul style="list-style-type: none"> ・個別のスケジュール、課題の設定、視覚支援、個々に応じた支援を行っている。 ・法人内研修や外部研修に参加している。 ・日頃の療育前後でスタッフ間で情報やデータを共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門知識を向上し実践に活かせるよう職員のスキルアップを継続する。 ・研修へ積極的に参加し、支援に活かせるよう取り組んでいく。
2	保護者さんに寄り添った支援	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回保護者さんと面談をし、信頼関係の構築につなげている。 ・状況や悩みを伺い解決に向けての解決方法のご提案や課題設定の実施。 ・保護者さんが悩みを言しやすい環境を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションスキルを向上させるために学ぶ機会を作る。 ・悩みの回答については、他の職員の意見やインターネットなどからも情報を収集し幅広い考えを提供する。
3	安心感、達成感を引き出す支援	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に情報を伝え、見通しを持ち安心して活動出来るように支援している。 ・本人が「できる」活動内容や課題を設定することで、褒める機会を増やしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の特性やニーズを把握し支援する。 ・職員間で情報を共有し共通支援を行う。 ・笑顔や温かみを大切に支援する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スペースが狭く感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・身長、体格等に合わせたスペースづくりや学習机等の設置が不十分。 ・再構造化の具体的な検討や整理整頓の時間が十分につけていない。 ・刺激を減らし集中できる環境を作っている結果、狭さを感じる空間が出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用していないスペースを有効に使えるよう構造化を定期的に行う。 ・整理整頓の時間をミーティング時などに設ける。
2	待機児が多い（受け入れ枠が少ない）	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の療育スタイルにより、受け入れ人数に制限がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人員確保と新人研修に力を入れる。 ・療育スタイルや作業効率化について検討していく。
3	マニュアルや避難訓練、非常時の周知が不十分	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所で周知の仕方やどの内容を周知するか明確でないところがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にミーティング時等で確認、共有する。 ・掲示板の仕方について再検討し取り組む。